



**南高**  
進路だより

**律**  
HOP!

**啓**  
STEP!

**創**  
JUMP!

**1.1月**

令和2年11月2日

福島南高・進路指導部



11月の行事予定



- |                                 |                             |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1日(日) 　ふくしま教育の日                 | 17日(火) 　第7回風紀委員会あいさつ運動(～18) |
| 3日(火) 　文化の日                     | 18日(水) 　修学旅行(2年　～20日)       |
| 4日(水) 　進学推薦会議④                  | 19日(木) 　SC来校(PM)            |
| 6日(金) 　SC来校(PM)                 | 22日(日) 　全商ビジネス文書検定          |
| 8日(日) 　全商珠算電卓検定                 | 23日(月) 　勤労感謝の日              |
| 9日(月)～13(金) 　日商簿記検定課外(1年)       | 24日(火) 　後期中間考査(～27日)        |
| 13日(金) 　南校へ行こう(公開授業④)           | 27日(金) 　自動車運転免許取得に関する説明会    |
| 15日(日) 　日商簿記検定<br>第2回実用英語検定(二次) | 12/7(月) 　進学推薦会議⑤            |

**共通テスト 1月16日まで・・・あと75日**

### 1年生へ～学習時間をしっかり確保する

高校生としての学習習慣は身についたでしょうか？7月に受けた模試の結果を見てみると、本校の過去数年と比べて全体としてはほぼ変わらないようです。これは、それで良いというわけではなく、より学年全体のレベルを上げていってほしいということです。定期考査や模擬試験を受けてみて、高校の定期考査は大変だと思ったら、模試はもっと大変だとわかったと思います。そのことを実感したらそれに対応できる実力をつけていって下さい。学習スタイルを身に着け、こつこつと積み上げていくことが大切です。今のままでもなんとかかなるだろうという甘い考えだと取り返しのつかないこととなります。11月24日(火)から後期中間考査も始まります。取り組み方の違いでどんどん差が開いてしまいます。学習時間をしっかり取り入れた1日のスケジュールをもう一度見直してほしいと思います。1年生でどのくらいの結果が出せるかで、その先の方向性を左右します。

### 2年生へ～君たちの受験はもう始まっている

第2回のスタディーサポートの進路希望状況を見て見ました。前回と比べて4年制の国公立大学や私立大学への希望の割合が高くなっているようです。その目標を達成できるように取り組んでほしいと思いますが、それを達成するための努力を各自しているのでしょうか？国公立大学への合格には共通テストで点数を取れる実力が欠かせません。共通テストは来年の1月の試験が第1回目になりますが、これまでのセンター試験より難しい問題が出題されます。それに対応する力が要求されます。また、私立大学はここ数年中堅の大学の難易度が上がっているため、全体としての難易度も押し上げられています。そのため、いわゆる滑り止めの大学の選択が難しい状況です。皆さんにとって「受験はまだ先のこと」ではなく「受験は始まっている」ことを自覚して学習に取り組んで欲しいと思います。受験は、授業で学習していることを深めて身につければ誰でも結果が出せるものなので、「気がついたら手遅れだった」にならないように日々の授業、家庭学習の質を今すぐに高めて下さい。

### 3年生へ～しっかりした目標を定め全力疾走

今年は就職試験の解禁が1か月遅れて10月16日(金)からでしたが、推薦会議は、就職希望者の会議も9月に行われ、進学者の会議も主に学校推薦型選抜(指定校推薦や公募推薦など)が対象になる第3回の会議までのものが終わっています。就職試験、公務員試験を受けて結果が出ている人、総合型選抜、公募推薦、指定校推薦に向けて書類を作成して小論文・面接・プレゼンテーションの具体的準備等をしている人、共通テスト・一般試験に向けて教科の勉強に集中している人とそ

れぞれが進路実現のために頑張っていると思います。ただ少し気がかりなのは、確固とした進路希望が定まっていない人が多くみられることです。手続きがぎりぎりであったり、志望先が揺れ動いている人を見かけます。高校生の進路選択は人生の方向性を左右する選択なので悩んだり、迷ったりして慎重になるのは当然ですが、3年生はもう決断しなければなりません。総合型でも学校推薦型でも一般入試でも早いうちからしっかり準備をして、自主的・積極的に行動した人が良い結果へとつながっていきます。妥協せずに先を見据えて目標に向かって頑張ってください。

## 2021年一般入試の難易変動は？

### ◎大学入試共通テスト

今年の受験生は「大学入試共通テスト（以下、共テ）」を初めて受ける。思考力重視の出題、リスニングの配点アップや「1回読み、2回読み」の併用（8問中6問が1回読み）など、共テはセンター試験（以下、セ試）より出題レベルが上がる。（平均点50%台が目標。セ試は60%台。）

共テの実施主体である大学入試センターは10月15日に、来年1月の共テの志願者は53万5244人で1月のセンター試験よりも約2万人少ないと発表しました。14日までの受付によると、1月16、17日の第1日程は53万1118人で30、31日の第2日程は789人です。また、現役生の出願は44万9789人で、浪人生ら個人の出願は8万5455人です。浪人生の出願は約2万人減った一方、現役生は横ばいでした（以上新聞の記事より）。

出願した人数は少し減少したようですが、入試が楽になったわけではありません。共通テストで点数を取ることが目標とする大学合格へ欠かせません。しっかり勉強して力をつけることには変わりありません。

### ◎国公立大学

コロナ禍によって、かつてなく地元志向と安全志向が強まっている。大都市圏の難関校に合格した先輩たちが、入学後も秋までキャンパスに入構できず（\*学校に来てくれた大学の担当者の方の話では、9月からは対面授業が再開しているとのことです。）、通信環境が整わない中でオンライン授業が続き、アルバイト先も激減して経済的に苦しむ姿をみて、大都市圏敬遠の傾向が強まるかもしれない。

地方から大都市圏への流入が止まり、難関～準難関の国公立大（特に文系）が敬遠される一方、通学可能で、難易度の面でも手が届く範囲の地方国公立大が人気を集めそう。

### ◎私立大学

私立大学志向が「20年より強まる」と推測される。とはいえ、併願校数は「20年以上に増やすのは難しい」との見方もある。

コロナ禍による家計急変やさらなる感染拡大の懸念から、「より早く確実に」合格を確保するため、推薦型（特に指定校）や総合型への志向が強まるため、一般選抜を受験する層が減り、共通テストの志願者減に伴い共通テスト利用選抜の志願者は減るのではないかと推測される。このため、私立大一般選抜全体の志願者数は3パーセント程度の減少が見込まれる。

併願パターンは従来の「チャレンジ校→実力相応校→合格確実校」ではなく、チャレンジ校をやめ、一方で前年に激戦化した合格確保校も精選し、実力相応校を幅広く受ける「横一文字型」になるのではないかとと思われる。

### ◎学部系統の人気度

コロナ禍による経済状況や就職事情の急速な悪化から、文系人気は冷え込みそうだ。特に、留学が卒業要件となることが多い国際系は大幅減の見込み。ただし、経済系はコロナ禍が収束した後の景気回復を見据え、志願者減は小幅に留まりそう。理工系では理・工・農の志願者が見込まれ、特に情報科学分野や建築分野は人気を集めそう。一方、医療現場が直面する厳しい状況から、医・歯は志願者減が見込まれるが、薬は創薬分野の注目度が高まり、看護・医療は不況下での貴重な就職先として人気を集めそう。国立大における後期募集停止や、教員を取り巻く環境などが影響し、教員養成系は人気低迷が続きそうだ。

### ◎福島大学

人間発達文化学類で募集人員減（前166人→154人、後19人→12人）。前年の反動で志願者増が見込まれ、やや難化しそう。その他の4学類は、やはり前年の反動から、共生システム理工（前）・食農（前・後）で志願者増、行政政策（後）で減が見込まれる。

## ◎福島県立医科大学

保健科学部を増設。前期のみ募集で2段階選抜も実施するが、予告倍率（約4倍）を超える志願者を集めそう。山形県立保健医療大から志望変更がありそうだ。この他、前年の反動から医・看護で志願者増が見込まれる。

## ◎東北学院大学、東北福祉大学

私立大学の入学定員の厳格化で難易度は引き続き以前より上がると思われるので、併願校として考えている場合など注意が必要。英語資格・検定試験利用や共通テストの英語リスニング利用などについても調べておく。

（以上『蛍雪時代』11月号参考）

ただ、これらはあくまでも予想なのでこれらのことも参考にして自分に合った入試計画を立てて実行することが大切です。

## 2021年度入試スケジュールを確認してみよう！

入試日程を頭に入れて、計画的な受験スケジュールを立て万全な状態で試験に臨もう。3年生だけでなく、1、2年生も大まかな流れをつかんでおくことは大事です。

	国公立大学	私立大学
9/28～10/8	入試共通テスト出願	9/15～
～10/27	共通テスト確認はがきが届く	総合型選抜出願
～11/4	共通テスト登録内容の訂正	11/1～
～12/15	共通テスト受験票等が届く 募集要項発表	学校推薦型選抜出願
1/16・17	共通テスト（第1日程）	12月下旬～
1/20	共通テスト平均点の中間発表	一般選抜出願
～1/22日	学校推薦型選抜（共通テストを課さない場合） の結果発表 共通テスト得点調整実施の有無の発表	1月下旬～
1/25～2/5	2次（個別）試験出願	一般選抜試験
1/30・31	共通テスト（第2日程）	2月中旬～
～2/16	学校推薦型選抜（共通テストを課す場合）・ 総合型選抜結果発表 第一段階選抜の結果発表（前期）	入学手続き
2/18	共通テスト平均点等の最終発表	
～2/22	学校推薦型選抜・総合型選抜合格者の入学手続き	
2/25～	前期日程試験	
3/6～3/10	前期合格発表	
3/8～	中期日程試験	
3/12	後期日程試験	
～3/15	前期入学手続き	
3/20～23	中期、後期合格発表	
～3/26	後期入学手続き（公立は～3/27）	
3/28～	追加合格者発表／欠員補充第2次募集出願・試験	
～3/31	入学手続き（第2次締切）	
4/1～	共通テスト成績通知書の送付（出願時に希望した者のみ）	

\*変更等があるので、詳細は各自調べて確認して下さい

\*願書の取り寄せ等手続きは各自で行うので余裕をもって準備して下さい。

\*私立大学、短期大学の出願期間・合格発表日程は各大学で設定されています。



# 「学びの森」終わる！

10月8日・15日の2日に分けて、2年生対象に「学びの森」が実施された。今年も様々な研究分野から講師をお呼びし、みなさんに学びの入り口を体験してもらいました。今年は、コロナウイルスの影響で外部の方からの生のお話を聞く機会が得難い状況なので例年以上に貴重な会だったと思います。自分が考えている進路の直接的な話だった人もそうでなかった人もいるかもしれませんが、「学ぶ」ということはどういうことなのかをそれぞれが考え、進路そして人生について役立ててほしいと思います。いろいろなことに興味を持ち追及する態度はとても大切なことです。参加した3年生にも参考になったと思います。以下に生徒の感想からいくつかその一部を紹介します。(文章は省略してあります。)

この講座を聞いてみて印象に残ったことは5Gについてです。携帯電話のコマーシャルで、5Gを宣伝しているものをよく見かけますが、私はそのメリットについて理解していませんでした。しかし、先生の話聞いて、5Gが普及することによって、通信速度が現在の100倍になること、より多くの端末を同時に接続できること、エアコンや黒板などの物も繋がるのが可能になることが分かり、実用化が楽しみに思いました。(コンピュータとネットワークが広げる未来)

看護の中でもさまざまな分野があるんだと学ぶことができました。看護師はもちろん、保健師、訪問看護、助産師、フライトナースなど看護には幅があるということが分かりました。私自身看護師になりたいと思っていますが、看護師だけではなく、保健師も今日の学びの森で視野に入れようと思えるきっかけになったので、すごく良かったなと思いました。また、もっともっと看護のことや看護師、保健師のことについて自分でもどんどん調べていきたいなと思いました。最後に、今回の学びの森を通して自分の将来についてしっかりと向き合うことができたと感じたので、これを機にもっとよく調べて、自分の進路実現に向けてがんばりたいと思いました。(看護学)

今回は、観光学ということで、自分の目指している進路なので、受講する前からとても楽しみにしていた。一言で観光業と言っても、旅行会社だけでなく交通機関の運輸業や宿泊業など、多くの種類の業種が関わっていて、日本では、15人に1人が何らかの形で観光に関わっていることを知った。現在新型コロナウイルスの影響で最も深刻なダメージを負っている観光業界であるが、裏をかえせばそれだけ海外からの観光客が多いということを意味しているので、海外から来た観光客に対応して案内したりできるだけの語学力を身につけていきたいと思ったので、これから、頑張っていきたい。(観光学)

患者さんを普段通りの生活に戻してあげるためには多くの職種の人々が連携して取り組まなければいけないことや、他の職種はどのようなことを学んでいるのかなど、自分の職種以外の理解も必要であると知った。今までは理学療法士は病院内だけで普段の生活に戻れるよう支援するものだと思っていたが、スポーツ選手のもとについたり、青年海外協力隊として、発展途上国の支援をするなど、多岐にわたって活躍することができる仕事であることが分かった。相手から感謝されることも、医療従事者なのやりのやりがいであると知った。(リハビリテーションの世界と専門職)

今回の講座で印象に残った話は、「自己理解」に関することである。今まで、自己理解とは、現在の自分について自分で考えることだと思っていた。しかし、自己理解とは「過去」「現在」「未来」の3点の自分を、自分だけでなく、他人から自分について聞くなどして、他人から見た自分のことも理解することだと知った。今現在、社会の職業は約30,000種あるそうだ。その中から自分に合った職を探すということは、簡単ではないと思うが、だからこそ、学生の間から自分について理解を深めることは大切だと感じた。また、働くということにとどまらず、人として生きる上でも、上記のことは大切だと思うので今のうちから真剣に考えておきたい。(就職に向けての準備と心構え)

大学で学ぶ法学は「How to」による学習だ。「覚える」と「考える」を同時に行わなければならない。高校までの学習方法は、法律名の暗記、法律が制定された経緯の簡単な説明を学ぶことだったが、大学での学習方法は法制定の背景事情に加え、各条文の持つ意味も学ぶ。法律用語の定義を知り、社会事情に合わせた解釈を行うことである。法学を学ぶにあたり身につけるべきことは、憲法の条文を全て暗記し覚えることではなく、時と場合によって法律を使えるかどうかであることが分かった。(社会生活と法の関わり)

## 就職希望者続々と～内定者（18名） 公務員 1次合格21名

就職希望者が20名以上いる中で、ここ（11/1）までに18名の就職内定をもらっている。又、公務員希望者は19名いる中で、14名（延べ21名）の1次合格者が出ている。頑張りが結果につながってとして出ているようで、昨年に引き続き大量合格が見込まれるのではと期待している。2次試験も頑張ってもらいたい。

尚、就職内定先は次の通りである。

(株)ヤクルト本社福島工場(3)、福島信用金庫、ふくしま未来農業協同組合、福島キャノン(株)、  
トーアエイヨー(株)福島工場、トッパンインフォメディア福島工業、日本ドライケミカル、南東北福島病院  
NOK(株)福島事業所、福島県商工信用組合、アイリスオーヤマ(株)、ムネカタ(株)、沖マイクロ技研(株)  
一般社団法人福島県自家用自動車協会、税理士法人寺田共同会計事務所、(株)ウエディングエルティ